「別記」強制的武装解除に反対せよ！
廿四名の職場責任者を殺しにするな！

東電全従業員諸君！

俺達の仕事の要求を支配階級はあらゆる出来権力を動員して蹂躙しようとした 校長物留 橋川は たたりまへの事の様にやられ、新聞紙を買収して「帝都時思陰謀団云々」の逆宣伝はおろか組合員私宅に深夜押しかけ何も知らぬ婦女子をさへも脅迫する等言語に絶した暴圧振りだと会社は完全に一つとなって言語に絶した暴圧振りだ

而も奴等自身いも飽くまでに遂に俺達の武装解除を要求しく来たった 俺達から武器をみんなとり上げておいて恩ぶ俺に細工をやらうと云ふ会社の魂胆だ

見よ！今迄俺達の最前線に働いて居た斗士達廿四名の名も首切ったではないか勇敢な廿四名が居たのでは限らずやらなければならない大量職首の邪魔になるからだ

関東電気の勇敢な斗争のために奴等は一時大量職首を引っ込めなければならなかった

而も俺達の目さゴで化すために毛程の待遇改善をやってみる 見れも俺達の果敢な斗争があったからこそだ 全職場の兄弟達！俺達は当面こう叫ばなければならぬ

強迫的武装解除に抗して関電を守れ！

廿四名の即時復職を迫れ！

大量職首の準備をせよ！

一九三八、八、二四

東電従業員学識団
関東電気労働組合

戦線ニュース

8月18日
NO.1

東電学識 発行
城南広報委員会

工場主の横暴に反抗して港の青年労働者蹶起す

俺達のストライキを勝ちたせろ！

全労働者諸君！！

港工場では去る七月十日に除特工だからとぬかして一文の手当も出さずに突然五名を首切った我新青年同盟準備委城南支部は関東金属と共同で抗議したところ工場主は「職工は全部親方に委せてあるから」とぬかす そこで早速親方の所へ行って三回も交渉を重ねた結果十四日合き無理に出させた 首切の場合多くの場で放り出す手段として親方の座ひにし目茶苦茶に搾ってゐた

従業員達も今度の問題で会社の態度に憤慨し遂に去る八月七日 歎願書を提出した 所が工場主は之に対して一顧もしないのみか却って勇敢なる労働者猿橋君を首切りで脅しつけたのだ

ここに於て益々激昂した従業員は遂に止むなく翌日からストライキに入った

若い従弟が十人で会社の親爺を不安伏せてやるんだと頑ゐ元気だ 自分でタウつ搾っておいて暇になれば放り出されて黙って居られるか 首にならなくても一日七十銭おやどうにもならぬ いつも首を切られる賃金を下げようとしてゐる工場主をやっつめる人だ

港工場争議の勝利は俺達の勝利だ 俺達は早速割当金から一円送って要求はこうだ

△親方さやめて共同で諸員は せろ

△猿橋君の首切に反対だ

△集金と斗士を送って港の兄弟を勝たしめよ

（東電争議委員会）